



未来の検察事務官へ

～検察庁職員からのメッセージ～

掲載の目的

大学生、高校生の皆さんへ

～検察庁を将来の選択肢に～

現役の検察事務官が**志望動機**や**仕事の魅力**をお伝えします。

就活生以外の方にも

「『**検察事務官**』ってどんな職業？」

そんな疑問にお答えします。

目次



法律の知識が無くても心配ありません！

検察事務官（令和7年度採用 捜査公判部門 事件管理担当）

幸せに暮らせる社会を実現したい！

検察事務官（令和7年度採用 総務課 人事係）



明るい雰囲気働きやすい職場！

検察事務官（令和7年度採用 企画調査課 企画調査係）



検察事務官（令和7年度採用）

- ・ 捜査公判部門（事件管理担当）

普段の仕事内容

私は検察官や立会事務官がスムーズに業務を進められるようサポートをしています。具体的には立会事務官が不在の場合に取調べの立会に入ったり、事件に関する書類を作成するなどの業務をしています。決まった業務以外に、その時々で臨機応変な対応を求められる業務も多いため、大変ではありますが、常に学びのある部署だと感じています。

検察庁の魅力

私が思う一番の魅力は、研修が充実しているところだと思います。入庁してすぐに、1か月間の手厚い研修があり、そこで一から法律を学びます。その後も、検察事務官や立会業務についての研修を通して、業務を行う上で必要な知識を学んでいきます。このように、充実した研修やわからないことを丁寧に教えてくださる上司、検察官の方々がいる温かい職場なので、法律を全く知らなかった私でも業務に対する不安を感じることなく勤務できています。

検察事務官を目指す方へ

少しでも検察庁に興味がありましたら、是非一度説明会等に参加してみてはいかがでしょうか。文字だけでは伝わらない検察庁の様々な魅力を知ることが出来ると思います。



検察事務官（令和7年度採用）

・総務課人事係

（職員の給与や採用に関する業務等を担当）

検察庁を志望した理由

私が検察庁を志望したのは、**皆が幸せに暮らせる社会の実現に寄与**できると思ったからです。仕事の中で大変な時もありますが、自分の仕事が誰かの安心安全を守っているという自負が、私の力になっています。

検察庁で働いてみて

検察庁の仕事の多くは、**人の権利や人生に関わる**ものであるため、専門性や正確性が必要とされます。大変な仕事であることを入庁してから一層感じるようになりました。しかし、上司や先輩が懇切丁寧に指導してくださるため、できることが少しずつ増え、業務に対する理解が深まってきたことを実感しています。研修なども充実しており、**積極的に学ぼうとする姿勢を持っている人が、きちんと活躍できる環境**だと思います。

検察事務官を目指す方へ

検察庁は、ニュースで目にする以外で、関わることが少ない組織ではないかなと思います。ここで**どんな仕事ができるのか、どんな人が働いているのか、こういった将来を描けるのか**、まずは知ることから始めていただきたいと思います。



検察事務官（令和7年度採用）

- ・企画調査課 企画調査係
（図書資料の管理、統計に関する事務担当）

鳥取地検の魅力

私が感じた魅力は、どの面においても働きやすい職場であるということです。上司や先輩方は、不明点を質問した際に、丁寧に教えてくださり、質問しやすい環境にあるため、ノンストレスな毎日を送ることができています。

充実の研修とサポート

検察庁は研修制度が充実しているため、法律の知識がなくても全く心配する必要はありません。私は、法律の知識がほとんどない状態で入庁しましたが、入庁後すぐに行われた初等科研修で、法律の基礎や業務内容を習得できました。検察庁にいる方々は、目標となる素晴らしい上司や先輩ばかりなので、見て学んだり、真似をしてみたり、成長する機会が無限にあります。入庁して半年ほどが経ちましたが、最近では、他部門の様々な業務を経験し、実践を積み、周りの方々の手厚いサポートのおかげで日々成長を実感しています。

検察事務官を目指す方へ

検察庁に少しでも興味のある方は、是非、説明会に参加していただき、検察庁を将来の選択肢として考えていただければと思います。